

事務局 それでは、ただ今より令和6年度使用教科用図書採択のための第3回選定委員会を開催いたします。本日の選定委員会の司会・進行を務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。それでは、開催にあたりまして、選定委員会委員長よりご挨拶をお願いいたします。

委員長 【挨拶】

事務局 ありがとうございます。それでは、本日の資料及び委員会の流れについて説明させていただきます。配付物の確認をいたします。

- (1) 第3回選定委員会次第
- (2) 第4回選定委員会次第(案)
- (3) 令和6年度使用教科用図書の選定について(答申)(案)
- (4) 市民からの意見書まとめ

資料はそろっておりますでしょうか。

(3)は答申の際に提出する具申書(案)です。教科書発行者ごとに全者の良い点を中心に概要をまとめています。答申の際に選定委員会としての意見となるため、内容についても論議をお願いいたします。第2回及び本日の会のやりとりも踏まえ、加筆修正したものを第4回選定委員会でお示しします。(4)は市民からの意見書の概要です。6月23日現在のものです。協議の資料として取り扱っていただければと考えます。次に本日の流れについてですが、(3)選定具申(案)をもとに事務局より具申内容の説明を行いますので、質疑応答、具申内容の確認をしていただきます。その後、選定委員会としての発行者の順位付けをしていただけたらと思います。それでは、委員長よろしくお願ひいたします。

委員長 それでは、国語の方から説明をお願いいたします。

【国語】

事務局 それでは、国語の説明させていただきます。東京書籍、教育出版、光村図書出版の3社は、いずれも随所に工夫を凝らしており、それぞれバランスの良い教科書となっております。各社において特徴的な項目についてお伝えいたします。

まずは、東京書籍です。東京書籍5年をご覧ください。「目標・内容の取扱い」では、各単元で身に付ける資質・能力を「言葉の力」と明示し、巻頭・巻末資料や単元のとびらなどで児童がどんな力を身につけるのか自覚できるように示されています。また、全単元において①見通す②取り組む③振り返るの課題解決的なステップで「学習の流れ」が示されており、児童が見通しを持ちながら「言葉の力」を獲得できるようにしています。「補充的な学習・発展的な学習」では、600以上のQRコンテンツを用意し、児童の学びを多種多様なコンテンツでサポートできるよう工夫されています。45ページをご覧ください。言葉の学習等の小単元では、左下のような練習問題用のQRコードが用意されており、児童に応じて補充的な学習に取り組みます。また、60ページ、61ページをご覧ください。中央下段のQRコードを読み取れば、デジタルノートとして、デジタル上で情報の整理ができるようになっています。その他のウェブ資料も豊富で、児童の考えや学びを広げられる発展的な学習に取り組める

よう工夫されています。

次は、教育出版です。「人権の取り扱い」では、持ち運びやすさや見やすさに配慮されたつくりになっています。教育出版5年上をご覧ください。全学年において、上下2巻本（分冊）にすることで、軽量化を図っています。ゆったりとした紙面やユニバーサルデザインに配慮したオリジナルフォントを使用するなど、読みやすくなるよう工夫されています。52・53ページをご覧ください。物語文、説明文教材での学習手引き「見通しをもとう」の下段学習の進め方の説明では、説明している場所が記号で示されており、児童が視覚的に捉えやすくなっています。

最後に光村図書出版です。「学び方の工夫」では、個別最適な学びを充実させるための工夫がなされています。光村図書出版5年246ページをご覧ください。説明文・物語文の手引きの冒頭に、「問いをもとう」として児童に問いを持たせる場面が設定されています。自分の問いを持つことで学習のめあてにつながるようになっていきます。同じページの下段「選んで読み深めよう」をご覧ください。選択課題を設定することで、児童一人ひとりの興味に沿って学習が進められるよう工夫されています。

以上でございます。

委員長 何かご意見やご質問はありますか。

委員長 意見交流会ではどのような意見ができましたか。

事務局 意見交流会では、東京書籍の意見が多く、学習の流れや子供たち、先生たちの学び方についても示されており、わかりやすいという意見がありました。QRコードが入っていることに対する良い意見もありました。その他、光村図書出版や教育出版に対する意見もありました。

副委員長 東京書籍では戦争を題材にした平和教材はありますか。光村図書は平和教材が多く入っていると思いますが、いかがでしょうか。

事務局 東京書籍においては、6年生「模型の町」があります。光村図書には5年生にも平和教材が入っています。

D 委員 QRコードが東京書籍は充実しているとのことですが、授業で活用することができれば有効的かなと思います。教育出版の全学年で上下2巻で、軽量化ということは親としてはありがたいと思います。国語は毎日あり、持ち帰ることも多いので、特に低学年はいいのではないかと思います。名前を書く負担もあると思いますが。

光村図書では、現行のものですが、イラストにおいて、男の子が青色、女の子がピンクという服の色が使われていることが気になりました。

委員長 QRコードは使う先生にもよると思います。得意な先生は活用しています。

委員長 それでは、特に反対意見がなければ「東京書籍」と「光村図書出版」を推していくということよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

【書写】

事務局 令和6年度使用教科用図書（小学校用）書写の選定具申（案）について、発行者順にご説明させていただきます。

まずは、東京書籍について3点お伝えさせていただきます。1点目は、ICTの活用についてです。東京書籍では、授業の場面に合わせて活用できるアニメーションやシミュレーション教材がQRコンテンツとして151項目用意されており、基本単元の導入時や家庭等における自学自習の際に活用する等、学びを効果的に高め、個別最適な学びを促すことができるようになっていきます。2点目は、学びやすさの工夫についてです。1年生の4ページ及び5ページをごらんください。右利き左利きそれぞれの鉛筆の持ち方を同じ大きさで縦に並べて示すことによって、児童がその場で手を重ねて確認できるような工夫がなされています。最後に3点目は、学ぶ意欲を高める工夫についてです。3年生の18ページ及び6年生の38ページをご覧ください。このように、筆や和紙、すずり等の作り方や文字の歴史等様々な観点から「文字文化」に触れることができるよう「文字といっしょに」というコラムが各学年に設けられており、児童が興味を持ち、学ぶ意欲を高めることができるような工夫がなされています。

続いて、教育出版について4点お伝えさせていただきます。1点目は、「文字や仮名の大きさ」「配列」についてです。5年生30ページをご覧ください。ポスターにまとめる活動において、児童が意識しやすいように工夫しやすいポイントが示されています。また、読み手を意識して書くことに対して、文字の大きさや余白の残し方、行間、改行の仕方について話し合う活動が取り入れられています。また、次の32ページをご覧ください。ポスターについて、パソコンで作成する場合においても書写で学習したことを生かすことができるような工夫が示されています。2点目は、鉛筆の持ち方についてです。1年生の7ページをご覧ください。鉛筆の持ち方に対して、合言葉として「ぱちぱち」「ころころ」「すうっ」「とん」というものが示され、互いに鉛筆の持ち方を確認しあう等、対話的な学習で進めていくことができるようになっていきます。3点目は、中学校への接続についてです。6年生の44ページをご覧ください。「はってん」として中学校で学習する「行書」について紹介されています。また、毛筆において小学校と中学校で同じ図版を用いることで、新しい学習を無理なく積み重ねることができるようになっていきます。最後に4点目はICTの活用についてです。教育出版では、自分で書いた文字と教科書のお手本、試し書きとまとめ書きを比較することができる「比較ツール」というものが設けられており、比較することで気が付いたことを書き込むことができる等、成果と課題を発見しやすくなることで、より個別最適な学びを深めていくことができるようになっていきます。

最後に光村図書出版について4点お伝えさせていただきます。1点目は、様々な教科との連携についてです。5年生の35ページをご覧ください。「英語を書いてみよう」というところでアルファベットや英文の書き方について取り上げられています。ほかにも生活や理科等、国語だけでなく他教科に生かしていくための橋渡しとなる教材が各学年に設けられています。2点目は、ICTの活用についてです。書く場面での確認や文字文化への理解を深めるためのきっかけとして活用することができる動画や写真、補助教材、参考資料等がQRコードで363項目設けられており、個別最適な学びを促すことができるようになっていきます。また、筆使いの解説では、上からと斜めからの映像でポイントを確認しやすくするための工夫がなされています。3点目は、学びやすさ教えやすさについてです。

児童が学びやすく、教師が教えやすくするための工夫として、教科書の横幅を5mm大きくしています。これによって、拡大した際に半紙と同じ大きさになるようにしています。最後に4点目としてSDGsへの配慮です。SDGsを意識した教材として、3年生から6年生の裏表紙の「SDGs×書写」のコーナーや、2・3年生の本文内でのコラム等、様々な場面でSDGsについて取り上げています。特に、4年生の21ページをご覧ください。4年生では「SDGsブック」を設け、SDGsの達成に向けた書写の活動について取り上げています。

以上で説明を終わります。

委員長 何かご意見やご質問等がありますでしょうか。

委員長 意見交流会での意見は光村図書の意見が多かったと思いますが、どのような様子でしたか。

事務局 意見交流会では、各社のいいところを話し合いされており、光村図書についても、現在使用しているため、使いやすいという意見は多かったです。

A 委員 教育出版では、ポスターにまとめたり、他の教科の応用になっていたり、一番興味を持って学習することができる感じるものが教育出版でした。

委員長 書写は活動中心であるため、教育出版の比較ツールは授業しながら活用しやすいですし、今までなかった授業ができるのではないかと思います。

委員長 先生方の使い勝手を考えて、「教育出版」「光村図書出版」の順で推していきたいと思います。

全委員 異議なし。

【社会】

事務局 社会です。まず3社の共通点ですが、各社とも問題解決的な学習ができるよう構成されています。また、主体的に学び、調べる技能を身につけられるよう、「学び方・調べ方」の紹介コーナーが設けられています。また、各社ともSDGsについての内容やQRコードによるデジタルコンテンツの充実が図られています。

では、ここからは、各社ごとの特徴です。「東京書籍」は、問題解決的な学習展開が「つかむ・調べる・まとめる・いかす」の4段階で構成されています。「まとめる」では、児童が多角的に考え、公正に判断できるよう様々な表現活動が示されています。単元末の「いかす」では、学習してきたことを踏まえ、よりよい社会に向けて自分ができることを考えられる内容になっています。また、社会的な見方・考え方を働かせて学習に取り組めるよう、「空間・時間・相互関係・比較／分類／統合」といった視点や考え方が、ドラえもののイラスト付きで毎時間示されています。また、重要語句が、同じページに「ことば」として取り上げられ、その語句についての説明があります。単元末の「まとめる」では、学習してきた「ことば」をもう一度載せて、学びを振り返ることができるよう工夫されています。

また、全学年を通して、QRコードのコンテンツが随所に掲載されており、「学習計画」「インタビュー動画」「まとめワークシート」など、学習場面に応じて個別でも協働でも活用できるQRコンテンツが充実しています。高学年では分冊となり、5年生の教科書は上・下に、6年生は「政治・国際編」と「歴史編」に分かれているのも特徴です。

続いて、教育出版は、各単元「つかむ・調べる・まとめる・つなげる」という学習展開で構成されています。問題解決的な学習の進め方が身に付くよう、巻頭で「社会科の学習の進め方」が掲載され、各ページでは今どの学習段階なのかが明示されています。「まとめる」では、クラゲチャートやダイヤモンドランキングなどの「思考ツール」が示されています。学んできたことをもとに話し合ったり表現したりしやすいよう工夫され、児童が公正に判断したり多角的に考えたりすることができるよう取り扱われています。また、見開き1ページが1授業時間あたりの基本構成となっているのですが、授業時間ごとに「この時間の問い」と「次につなげよう」が示されており、小単元を通して問題の追究に連続性が生まれるよう工夫されています。また、すべての学年において、人権や共生について学び考えていくことができるよう取り扱われています。各学年、車いすに乗った児童や外国にルーツがあると思われる児童がキャラクターとして登場するのも特徴です。また、仕事を紹介する写真では、男女に偏りが出ないよう配慮されています。併せて、働く人の顔や表情が分かる写真が多用されていることで、社会を支える人たちの思いや願いを想像しやすくなっています。6年生の歴史分野では、52点の白黒写真の資料がカラー化されています。これは、児童の興味・関心を高めると共に、当時の様子をより実感を伴ってイメージできるようにと工夫された、教科書において初めての試みとなっています。

最後は、日本文教出版です。「問題を発見する」「問題を追究・解決する」「問題をほり下げよりよい未来をつくる」という単元構成を基本とし、それぞれの学習段階のめあてが明示されています。また、交流場面が随所に設定され、対話的な学習の例が具体的に示されています。児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されており、例えば、本文に関連資料の番号が示してあったり、キャラクターが児童の思考の流れを作る問いかけをしたりするなどです。重要語句については、本文上でゴシック体の太字にし、同じページに「キーワード」として取り上げ、その語句についての説明があります。本文全体がユニバーサルデザインフォントで書かれ、図の配色やレイアウトも配慮されています。3社のうち最もSDGsに力が入れられており、各単元の最後にSDGsに関連したページが設けられているのも特徴です。いずれの学年においてもSDGsの目標シールが巻末に付いており、一年間の学習をSDGsの観点から自分事として振り返られるようになっていきます。

委員長 何かご意見やご質問等ありますでしょうか。

C 委員 社会的にも人権というキーワードが重視されており、特に教育出版社が人権を意識しているように感じましたがいかがですか。

事務局 どの出版社もキャラクターが学習の流れを示していますが、教育出版のみ車椅子に乗った児童や外国にルーツを持っていると思われる児童がおり、多様性などが強調されています。男女の比率は各社同じになっています。

C 委員 前回の調査員からの報告があったように分冊ではなく、1冊になっていることで歴史・政治がつながった授業が受けることができ、メリットであると感じており、興味関心にも

つながるのではと考えると一冊になっている方が理想的なのではないかと思えます。

委員長 分冊にすると軽量化というメリットもありますが、社会は最近持って帰らないことが多く、教科書や資料集は教室においているため負担は多くないのではないかと思います。

F 委員 教育出版では白黒写真をカラーにするという初めての取組があったとのことですが、子供の受け取りはどうでしょうか。

事務局 意見交流会でも話題にあがり、白黒のそのままのよさもあると思いますが、白黒であると遠い昔のことという印象も持ってしまうのではないかと。カラーであれば、今と過去が地続きで昔も自分たちと同じように生活をして、「様々な考えを持った人がいたと認識できるのではないかと」という意見がありました。カラー化された写真は6年生社会の歴史、特に戦時中や戦後に多く掲載されています。

委員長 ご意見がいろいろ出てきたのですが、委員の中でも「教育出版」を推す意見が多く、次に推す出版社としては調査員からの説明でもあったように「東京書籍」ということよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

【地図】

事務局 「地図」について報告をさせていただきます。「地図」では、東京書籍と帝国書籍の2社から教科書が出ております。大きな違いが現れていた3点、「デジタルコンテンツ」、「情報量」、「各社の独自の工夫」を説明させていただきます。

1点目、「デジタルコンテンツ」において、東京書籍は、地図帳で掲載されている地図を、そのままタブレットで表示でき、自由に拡大・縮小ができます。内容は、「地図」と「リンク集」のみと、シンプルな作りとなっており、分かりやすく、白地図も用意されているため、様々な使い方で地図に親しむ工夫がされています。帝国書院では、「地図クイズ」「地図のやくそくごと」などのコーナーや「日本の自然災害と防災」「日本の歴史・世界遺産」など、リンク先がまとめられており、児童が興味の幅を広げられる工夫がされています。また、地図においては、「都道府県ごと」に掲載されており、都道府県の交通や主な農林水産物なども一目でわかる工夫がされています。さらにサイトのレイアウトもわかりやすいため、児童が直感的に活用できます。

次に、2点目、「情報量」についてです。東京書籍は51ページ、帝国書院は77ページの「札幌市周辺」をご覧くださいませでしょうか。東京書籍では、札幌の文字の下に、「定山溪ダム」や温泉マークの左に「定山溪」と書かれてありますが、帝国書院では、「地図記号のみ」となっています。このように、東京書籍では、地方名や名所等の情報が全体的に多いため、地図の好きな児童にとって興味の持ちやすい内容となっており、高学年の調べ学習等でも活用できます。一方、帝国書院では、地方名等の情報量を絞っているため、地図帳を使用開始する中学年の児童や、情報の整理を苦手とする児童にとって使いやすい内容となっています。また、帝国書院の次のページ、79ページをご覧ください。北海道の主要都市部の拡大地図が掲載されています。主要都市部の拡大地図は、北海道だけで

なく、大阪・愛知などでも見られ、帝国書院の大きな特徴の一つとなっています。

最後に、3点目、それぞれの教科書独自の工夫についてお伝えします。東京書籍では、写真の資料が多く掲載されております。62ページでは、世界の料理、68ページでは、世界と日本の山の写真を掲載し、児童の興味関心を視覚的に引き付けます。続いて、帝国書院では、「SDGs」に関する資料が多く掲載されております。例えば、84ページから始まる世界のSDGsシリーズや125ページでは、まとまった特集がされています。これらの情報は、総合的な学習の時間の調べ学習等でも活用できるのではないかと考えております。

以上で、教科用図書「地図」の報告を終わらせていただきます。

委員長 何かご意見等ございますか。

E 委員 地図が読めない人も多く、地図は親しみやすい方がいいと思いますが、帝国書院はページ数が多く、東京書籍はページ数が少ないですが、東京書籍は情報を絞ってコンパクトにしていると説明されていましたか。

事務局 東京書籍は都市の名前やダム、温泉など、1ページの中に多く情報を盛り込んでおり、文字の量が多いです。

E 委員 地図好きの児童にとってはうれしいですね。端末を使えばいろいろなところに行けますが、同じ地方でも拡大して覗けるということは、ネットにあまり触れない子にとっても大事な要素だと感じます。

委員長 何年か前に広く見渡す地図というものを使いましたが、情報量が少なくて中学年にとってはわかりやすく、俯瞰して見えます。細かすぎると気が散ってしまい、全体像が見えないことがありました。

C 委員 子供の時に、先生からダムを探してと言われたことがありますが、文字量が多すぎて探せなくてあきらめた経験がありました。パッと見た印象は子供にとっては大きいのではないかと考えていて、抵抗感を示す子が多いと気になるなと思う一方で、地図好きな子にとっては、情報量が多いということも魅力的だなと親としては感じているので、難しいです。ただ個人的には、経験上、帝国書院がシンプルで重要なところは目に留まりやすいというところは良いなと感じていました。

F 委員 授業をしていた際に、情報量が多い中でポイントを絞って、色をつけるときに文字を探しきれない児童が多かったイメージがあります。情報量を絞ることは、明確に子供たちに授業で伝えるというところで大事で、大きなポイントではないかと感じました。

副委員長 一人も取り残さないというところは大事にしているところで、興味がある子はiPadでももっと調べるのではないかと思います。誰も取り残さないという視点では、入りやすい方がいいのではないかと思います。

委員長 それでは、選定委員としては、地図は「帝国書院」、「東京書籍」ということでよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

【算数】

事 務 局 算数は6発行者でございます。

まず、東京書籍です。4年生下50ページ、5年生上16ページをご覧ください。単元導入時にQRコンテンツとして日常生活の場面を想定した「オープニングムービー」を設け、学習動機できるように工夫されております。次に、2年生上23ページ、6年生65ページをご覧ください。2年生以上の各単元末において、「つないでいこう算数の目」が設定されており、単元の学習で大切にしたい数学的な見方・考え方を振り返り、児童自身が成長を実感し、生活や次の学習へ生かそうとする態度を養えるよう工夫されております。最後に、6年生23ページ、220ページから230ページをご覧ください。「中学校体験入学コース」「算数卒業旅行」を設け、中学校の数学の内容に具体的に触れ、中学校の学習への関心や安心感が高まるよう工夫されております。

次に、大日本図書です。まず、6年間を通して、演算決定する力を高めるために、例えば1年生117ページのドット図、2年生192ページのテープ図、3年生129ページの線分図、4年生149ページの数直線図のように系統的に取り上げ、徐々に使いこなせるように配慮されています。次に、キャラクターやイラスト、写真について、異文化理解を促すため、外国にルーツを持つ児童や算数に関わる海外の文化、外国の言葉を紹介するなど、工夫されています。最後に、6年生160ページなどでは、「なるほど算数教室」を設け、面白い算数の問題やお話、社会で生かされている事例を取り上げられていることや、6年240ページなど、算数や数学を生かして仕事をしている方へのキャリア教育インタビューなどを掲載され、動画も用意されております。

次に、学校図書です。まず、6年生上9ページから11ページをご覧ください。2年生以上の上巻の冒頭に「算数で見つきたい考え方モンスター」のページを設け、見方・考え方を具体的な例を示しながら解説を行い、意識して自ら課題を解決できるよう工夫されています。また、課題を解決するために既習内容を思い出すことができよう、新しい考え方を使う場面でモンスターを設け、知識の積み重ねが確実にできるよう工夫されております。次に、6年生6ページをご覧ください。単元の冒頭では、身近な疑問や算数の中から児童たちが問題を発見するところから始められるよう構成され、算数の課題として取り組むことができるよう、「?を発見」を設けられています。また、「めあて」の書き方が疑問形になっており、児童が問いを持ちながら進めていけるよう工夫されています。続いて、6年生231ページをご覧ください。全学年に「ほじゅう問題」を設け、2年生以上では、自学自習にも活用できるよう解答が設けられています。さらに、208ページをご覧ください。単元末の「ふりかえり」では、個々の習熟に柔軟に対応できるよう、複数単元の内容、生活の中の算数等を題材に基礎・基本の学習をさらに習熟でき、それらを使って総合的・発展的に考えられるよう工夫されております。最後に、教科書が、一般的なB5サイズより若干横長で左右にスペースがあり、メモ書きができることや教科書を開いた時に、平らに開きやすい教科書となっていること、ICT機器の使用することの利便性や効果的かつ正しい使用方法について、記載されていることも特徴です。

次に、教育出版です。まず、単元の導入で、身近な場面や日常の活動等から、児童が問題を発見し、算数を使える場面があることに気づかせるよう問題設定になっております。次に、5年生300ページをご覧ください。問題解決の必要な知識・技能等の振り返りペ

ージとして「学びのマップ」が設けられており、わからない箇所がある時や関連する内容を「まとめアニメーション」で確認することができ、児童の習熟度に応じて支援できるよう工夫されております。最後に、写真と絵が多く、児童の想像力に働きかけ、内容を理解しやすいよう工夫されております。また、4年生上117ページをご覧ください。活動場面では、写真を用いて動機付けをし、作図の書き方等、連続写真や利き手に配慮された動画を用いて、児童が視覚的に理解できるよう工夫されています。

次に、啓林館です。まず、1年生最初の「すたあと ぶっく」は、ブロックが置きやすく、字が書きやすいよう工夫されています。また、幼少期の体験のダイナミックな写真を掲載し、問いかけの文とともに自己の体験にもとづいて対話ができるように工夫されております。次に、他の発行者とは違い、5年生134ページの「面積」では、「三角形の面積」を学習してから「平行四辺形の面積」、6年生70ページの「場合の数」では、「組み合わせ」を学習してから「並び方」で取り扱っていることが特徴です。最後に、6年生の目次をご覧ください。写真やイラストについては、性別による役割を固定することなく、他国ルーツの児童や車いすなど配慮されております。また、6年生72、73ページをご覧ください、大切な「見方・考え方」については、キャラクターに大切なことを吹き出しで語らすことやマーカーで強調するなど、児童が考える道筋を示しております。

最後に、日本文教出版です。まず、3年生上10ページをご覧ください。各学年の冒頭の教科書の使い方では、デジタルコンテンツについて説明が明記され、学習の助けとなるよう工夫されています。3年生上の最後のページをご覧ください。巻末(かんまつ)では、問題解決的な学習過程と学習を進めていく際の着眼点をまとめた箇所、話し合いや振り返りの観点を明示し、算数の学習の進め方を常に確認できるよう「学び方ガイド」を設け、問題解決にあたっていつでも立ち返ることができるようにしております。6年生252ページから274ページをご覧ください。2年生以降の巻末には、「算数マイトライ」を設けられ、「しっかり」チェック、「ぐっと」チャレンジ、「もっと」シャンプと3段階の難易度の問題が用意され、児童の習熟度に応じて取り組むことができるよう工夫されております。

以上となります。

委員長 何かご意見やご質問等ありますでしょうか。

F 委員 東京書籍、大日本図書、教育出版が系統的な学びができやすいのかなと説明を聞いて印象を受けたのですが、学校図書が一番系統的な学びが明確に示されているのでしょうか。

事務局 教職員からも授業の流れが非常に良いという意見を聞いています。

F 委員 もう一点、いいですか。図式に表しているもの、いわゆる線分図なども多く見られたのは学校図書でしょうか。

事務局 4マス関係図や数直線の書き方等、年間通して学習でき、定着しやすいということからも教職員から学校図書が良いという意見がありました。

A 委員 学校図書について、算数に限ったことではないですけど、自分で考える力をつけていくために、問いを触れることや問いを考えていくことが大事ではないかと思っていて、例えば、1年生では、自分で算数の数からお話を考えるところがあり、一番考えられる教科書

ではないかなと感じました。

副委員長 学校図書については考えモンスターが9つもあり、考え方が9個もあるのはしんどいのではないかなと思いました。

委員長 何のメリットがあるかという、一度使って考えたときに、別の場面で使えるのではないかな、あのやり方でやってみようとなり、覚えるというよりは、最終的には考え方を身に付けていくために使うのではないのでしょうか。

副委員長 それはわかりませんが、キャラクターに加えて、さらに説明がついていて、キャラクターはなくてもいいのではないかなとも思います。

事務局 先生方からはキャラクターがあることで興味を持って学ぶことにつながるのではないかなという意見もありました。

D 委員 学校図書は表紙がおいしそうで、苦手な子たちからすると意外と教科書に対する抵抗感をやわらげるのではないかなと思います。

委員長 「学校図書」「東京書籍」ということでよろしいですか。

全委員 異議なし。

【理科】

事務局 理科の調査結果を報告します。5つの会社の教科書を調査いたしました。各社とも、随所に工夫がありそれぞれに力を入れた点が見てとれました。目標・内容の取扱いについてですが、いずれの教科書も自然事象等についての理科や観察、実験などに関する基本的な技能や問題解決能力を養うための工夫が見られました。1つ取り上げるとすれば、東京書籍は自然事象について子供自身の問いをふくらませ、疑問について予想をたて、観察実験を行うなかで、自然事象に対する理解や基本的な技能を身に付けられるような工夫がなされていました。

人権の取扱いについてですが、各社とも児童のイラストについての多様性への配慮や視覚的に見やすいユニバーサルデザインフォントが見られました。防災や環境については、特に、大日本図書が6年生の巻末を中心にSDGsについて詳しく取り上げていたり、防災に関連する学習項目の最後には防災のマークとともに学びを深めるページが設けられておりました。

発達段階の考慮については、学年に応じた表現や分量の配慮がされており、太字や色抜きなどの工夫もされていました。学校図書では特に、リアルなイラストを資料とし多用しており、子どもをひきつける工夫がされているように感じました。

組織・配列については、単元配列については出版社ごとに、違いはありました。ページの構成については教育出版がページごとの情報量をゆったりとしたレイアウトにしてあり、子どもにとっての見やすさを大切に工夫がされていました。また、特徴的なページ構成の1つとして、安全の手引きを背表紙にもってきていることがあげられます。

学び方の工夫についてですが、理科の見方・考え方を育てるための工夫や配慮はいずれ

の教科書でも見られます。特に啓林館では見方・考え方に関わる語句に下線が引かれており、また、巻末でも「理科の見方・考え方」の解説ページが設けられており、理科の考え方を定着させることを特に大切にしているように感じました。

最後に補足的な学習・発展的な学習については、どの教科書でも理科の学習に対する意欲をかきたて、知識や技能の定着ができるように工夫されていました。また、QRコードから動画が閲覧できるようになっていました。その中で、啓林館では、GIGA端末の導入に伴い、今後様々な試験がコンピューターでの試験になることを見据え、動画映像をみて問題に答える「WaCBT」が載せられていることが特徴的でした。

以上で、理科の調査報告とさせていただきます。

委員長 何かご意見やご質問等ありますでしょうか。

委員長 啓林館は以前CBTのテストの結果が悪かったことから、その結果を見込んでいるのでしょうか。

事務局 GIGA端末が導入された経緯の一つに、OECDのテストでCBTに対応できなかったことがあり、今後、全国学テ等もCBTに対応していくことを見据え、啓林館はCBTがあり、特徴的だと思います。

C委員 理科も好き嫌いはあると思いますが、苦手な子どもにとって、身近なものを連想させるような教科書の方が考えやすいのではないかと思います。そのような工夫がされている教科書はありますか。

事務局 いずれの教科書においても工夫はありますが、東京書籍は各単元に日常生活に関わる様々なコラムが記載されており、理科が苦手な児童でも日常生活に関連付けて学ぶ意欲を掻き立てる工夫がされています。また、啓林館ではその学年で学習した既習事項の内容を踏まえてものづくりをするようなページがあり、苦手な児童でもものづくりを通して理科を学ぶ工夫があります。

F委員 知識ではなく、能力をつけていくかが大事だと思いますが、啓林館はいかがですか。

事務局 啓林館では問題解決のステップを学びのラインでつなぐとともに、理科に関する見方・考え方にマーカーが引いてあり、問題解決をアシストする工夫があります。

委員長 それでは、「啓林館」「東京書籍」ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

【生活】

事務局 まずは、東京書籍です。目標・内容の取扱いの観点では、「かつどうべんりてちょう」や「かんさつずかん」を手がかりにして、習慣や技能などを身に付けられるように配慮されています。また、「デジタルいきものずかん」や「くらし図かん」などのQRコンテンツも充実しています。個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、個性豊かな登場人

物を掲載し、多様な表現方法、資料を例示しています。また、気づいたことを友達どうしで伝え合う姿や他者と関わる場面が写真や挿絵などを用いて具体的に例示されています。「つながる ひろがる」では、スタートカリキュラムから他教科等の学びとの関連がわかりやすい教科のピクトグラムを用いて具体的に例示されています。また右下には次の学習へつながる吹き出しや、ヒントが児童の姿などで具体的に例示されています。大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されています。

次は大日本図書です。スタートカリキュラムについては、「たのしいよ 1ねんせい」と題して小学校入学前と小学校生活と比較したり、「みんななかよし」では仲間づくりの活動を意識したりする内容となっています。活動を通して、学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにする内容が取りあげられています。巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、習慣や技能等を身に付けられるように配慮されています。「ちずをつくろう」で写真や絵をはりつけた地図の作り方、「しらべかた つたえかた」で具体的な調べ方や発表のしかたなどが示されています。

次は学校図書です。各単元、活動や体験の内容ごとにテーマを決め、ページ見開きで一つの活動にすることで単元の流れがわかりやすい構成になっています。スタートカリキュラムについては、「はじまるよ しょうがっこう」で小学校生活についてイラストで例示するなど、スムーズに接続できるよう工夫されています。個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、子どもの主体的な活動を支援する「ものしりノート」や「ものしり図かん」などの資料が充実しています。また、上下巻を通じて4人のキャラクターの交流場面が示されており、個からグループへと対話が発展していく構成となっています。単元末に「もっと」のページがあり、単元が終わった後も学んだことを生活に生かすことができるようになっています。また「話す」「聞く」「書く」などの要素を取り入れた活動になっており、「学び方図かん」でもポイントがわかりやすく示されています。

次に教育出版です。活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れがわかりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表、QRコードなどが効果的に活用されており、児童の発達段階に考慮されています。単元ごとに「わくわくスイッチ」が掲載されており、スムーズな導入と意欲付けの工夫されています。また、「発見ロード」「ぐんぐんはしご」など、主体的な学びになるような工夫がなされています。自分自身や身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について適切な内容が取りあげられており、例えば、特に重点を置く必要な「力」が各小単元にサイコロで掲載され、わかりやすく示されています。

次に光村図書です。別冊の「ひろがるせいかつじてん」では、「きろくをしよう」でカードの書き方やタブレットやデジタルカメラの使い方が示されています。別冊「はるのなかまたち」を持ち運んで観察することができます。各単元には、活動の様子が記載され、指導者の工夫を生かせる内容となっています。スタートカリキュラムについては、「いちねんせいがはじまるよ」に、各教科を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されています。大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されています。

最後に啓林館です。文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいように配慮されています。表現方法も豊かで、児童の興味・関心を引くように工夫するなど配慮されています。意欲を引き出す工夫として、活動内容や活動の流れがわかりやすくなるよう、写真や地図、挿絵、図、表・QRコードなどが効果的に活用されています。掲載されている「わくわくタイム」やQRコード「まなびウェブ」を活用することで、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を

主体的に行えるよう工夫されています。また、児童一人ひとりの興味・関心に合わせて活用できるよう「びっくりずかん」が記載されています。さらに、学習での気づきを友達同士で伝え合う場面等が写真や挿絵で具体的な場面として示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されています。ICT機器を持ち運ぶことによって、QRコード「デジタルたんけんブック」を効果的に活用することができます。また、「タブレットをつかおう」にはICT使用における注意事項が記載されています。スタートカリキュラムでは、「すたあとぶっく」に各教科などを意識した入学当初の活動が、イラストや写真でわかりやすく示されています。導入「わくわく」、活動「いきいき」、ふりかえり「ぐんぐん」の3段階で構成されており、単元を通して活動が連続しながら発展、深化するように工夫されています。

以上でございます。

委員長 何かご意見やご質問等ありますでしょうか。

委員長 東京書籍と啓林館を推しているように思いますが、どちらがどう優れていますか。

事務局 啓林館はQRコードを使った情報がかなり豊富で、スタートカリキュラムにおいても充実しています。また、一例ですが、教師が教える黒板が記載されており、教師側のサポートもあります。

委員長 意見交流会では、光村の意見が多かったようですが。

事務局 ヨシタケシンスケさんのイラストについての意見は多く、子供たちの目がひきつけられるのではないかという意見が多くありました。東京書籍も植物の育ち方が大きくて見やすい、情報量が非常に多いという意見や、逆に多すぎるという声もありました。

F 委員 教える側の授業サポートについて、啓林館は多いということでしょうか。

事務局 たくさんあるわけではないですが、いくつか子供たちと教師が関わっている場面が記載されているので、わかりやすいと思います。

B 委員 一年生を担当するとしたら、啓林館のスタートブックは1年生の最初に使えるなと思いました。あと、指導する側として、指導する先生方へという小さいメモがあるので、初めて1年生を持った人でも注意したらいいところなどがわかるのではないかなと思いました。また、QRコードで作り方の動画が見れるということは担任としても嬉しいです。

委員長 それでは、調査員の調査のとおり「啓林館」と「東京書籍」の2者であげさせていただいてよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

【音楽】

事務局 音楽科の内容を報告します。

まず、1.「目標・内容の取扱い」についてです。教育出版は巻頭（学習マップ）4・5ページをご覧ください。1年間の学習がわかるよう番号がわりふられており、写真やイラストも本文のページと同じものを使用し、内容がわかりやすいように示されています。教育芸術社は、巻頭（学習マップ）4・5ページをご覧ください。1年間の見通しが持てるよう、歌唱・器楽・鑑賞・創作において、繰り返し学びながら学年で習得すべて内容が取り上げられています。

次に2.「人権の取扱い」についてです。どちらの出版社も人権尊重の観点から多様な個性を求める配慮がなされています。

3.「発達段階の考慮」について教育出版は、教科等横断的な視点として、歌詞で親しめるようになっており、音楽づくりの活動例の資料が豊富です。教育芸術社は、ナビゲート役として、学習を手伝う親しみやすいキャラクターや吹き出しにより、充実した学習ができる設定となっています。

4.「組織・配列」について教育出版の74ページをご覧ください。全学年で「ショートタイムラーニング」にして、全学年英語の歌を取り扱っています。教育芸術社の64ページをご覧ください。3年生以上で、英語の歌や歌詞が取り扱われており、裏表紙に各地につたわるお祭りや郷土芸能が掲載されています。

5.「学びの工夫」について、教育出版は、「まなびナビ」のコーナーでは、子どもたち自らの学びの中で、気づきや学ぶ楽しさを発見することを大切にしています。教育芸術社は、主体的、協働的な学びを促す親しみやすいキャラクターの吹き出しや、表情やしぐさにより子どもたちの興味・関心を引き出すように工夫しています。各活動において必要な技能を「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」のマークを明示し、見通しを持って学習に取り組めるような内容になっています。特集で「著作権について知ろう」という項目もございます。24ページをご覧ください。音楽をつくって終わりではなく、その先のことも考えて構成されています。

6.「補助的な学習・発展的な学習」について、教育出版社は、巻末に「音楽のまとめ」「音楽を表すいろいろな言葉」「音符や休符、記号など」があり、随時、関連事項を振り返ることができるように配慮されています。教育芸術社は、巻末に「ふりかえりのページ」「いろいろな音符・休符・記号」を掲載し、1年間の学習を見通したり、6年間の学習も見通しをもって、随時関連事項を振り返ったりできるように配慮されています。

以上です。

委員長 何かご意見等ありますでしょうか。

委員長 意見交流会での意見はどうでしたか。

事務局 QRコードが見やすそうという意見は、教育芸術社、教育出版社ともにありました。QRコードの数としても教育芸術社は195、教育出版社は103となっており、意見として出ていました。意見の数としては同じ程度でした。

副委員長 QRコードの数以外の意見はありましたか。

事務局 2社を見比べた意見もありました。教育芸術社6年生40ページ、教育出版社48ページの「ふるさと」を見比べて意見交流を行っていました。教育芸術社は42ページも「ふるさと」のページになっており、ポイントが記載されていたり、見つける、考える、歌う、

チャレンジという記載内容から苦手な先生にとっても教えやすいという意見も出てきました。

E 委員 児童は端末を持ち帰る機会が多くなっており、持ち帰ることだけではないですが、QRコードについては、豊富なことに越したことはないのではないかと思います。

委員 長 一長一短はあるのかなとも思います。

C 委員 教育出版の1年生では英語の歌もあり、英語との連動性として、英語が使われている音楽から入って耳で覚えるという事にもつながるので良いのではないかと思います。また、質問ですが、教育出版77ページには、「君が代」取り上げられており、国歌はどんな時に歌われているのだろうという問いかけがありますが、先生方はどのように扱うのでしょうか。

委員 長 経験上、オリンピックなどの大会に合わせて、指導を行うことが多いです。問いかけがあるなしではなく、子ども達が見たことや聞いたことがあるタイミングで指導することが低学年では多いです。音楽を担当している教員にとっては、一般的な問いかけであると思います。

C 委員 授業の流れや導入に関わるフォローと考えていたらいいですか。

委員 長 6年生であれば、卒業式で歌うため、そのタイミングで歌うことや指導することが多いと思います。

委員 長 では、調査員が調べている内容としては大きな差はありませんが、教育芸術社は教えやすいという調査員の調査にもあるように、特に反対がなければ、音楽は、「教育芸術社」を推してということでもいいですか。

全 委 員 異議なし。

【図画工作】

事務局 開隆堂出版は身近な材料を題材にして、造形的な視点について理解し、様々な方法で作ることができる内容が取り上げられています。「ひらめきコーナー」や「ころろさんマーク」の助言から、感性を育て、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことのできる内容となっております。安全確保や事故防止についても、適切に取り上げられています。「小さな美術館」や「みんなのギャラリー」では、絵画や立体作品、自然の写真等が取り上げられています。また、鑑賞ノートを活用して、互いの考えや思いを伝え合い、見方や感じ方を深める工夫がされています。形・色・材質の特徴を捉え、自由に表現する様子から、自己の表現につながるイメージを持つことができるよう工夫されています。児童の個性に合わせ、多様な表現ができるよう、多くの作品が掲載されています。写真の吹き出しにより、互いの考えや発想を認め合い、生かされるような工夫もされています。「つながる造形」や「みんなのギャラリー」では、伝統文化や工芸について紹介されており、学習を振り返り、深め広げることができるよう工夫されています。

日本文教出版は、身近な材料を題材にして、造形的な視点について理解し、形・色・材質感などからイメージを広げ、創造的に作ったり、表したりすることができる内容が取り上げられています。子供たちの吹き出しなどで他者との関わり方を例示し、対話的な学びの場面を数多く取り上げています。他者と関わる活動を通して、感性を育て、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うことができる内容となっています。道具の使い方の説明の他にも、各ページにある「気をつけよう」「かたづけよう」のコーナーで注意事項を示すなど、児童の安全確保や事故防止についても適切に取り上げられています。「教科書美術館」「図工の見方」「アートカードを楽しもう」「みんなの図工ギャラリー」では、身近な作品の写真や動画が掲載されています。また、題材ごとに吹き出しやヒントカードを使って鑑賞の視点が示されており、互いの考えや思いを伝え合い、見方や感じ方を深める工夫がされています。形・色・材質などの特徴を捉え、様々な感覚を使って素材や用具に触れることができるよう構成されており、自己の表現につながるイメージを持つことができるよう工夫されています。児童の個性に合わせ、多様な表現ができるよう、多くの作品が掲載されています。また、道具の使い方や手順、制作過程の写真等も掲載されており、児童にとっても活動内容がわかりやすく、主体的な活動につながる工夫がされています。児童が考えを伝え合ったり、相談したりしながら、造形活動を行う様子が例示されており、試行錯誤を繰り返しながら表現や鑑賞を繰り返し、学ぶことができるよう工夫されています。「広がる図工」では、地域活性化という目的を持ち、図工作品や平和・防災の観点を持った作品、芸術作品が紹介されています。他教科とも結びつけて学習を振り返ることができる工夫もされています。

以上でございます。

F 委員 前回、調査員からの説明の中で、教職員にとって日本文教出版が教えやすそうという意見が出ていたことが、明確な違いであると考えています。

事務局 日本文教出版については、3・4年生41ページを参考に見てください。日本文教出版には、制作過程の写真が多く、子供たちが作品を作っていく過程の中で、どのような作業をしていくのかを教員が明確にイメージすることができますので、教員が支援をしやすいという意見が調査員からもあがっておりました。

E 委員 2社の同じようなページで比較すると、日本文教出版はいい使い方と悪い使い方を両方示しており、子供にとっても教員にとってもありがたいと思います。いいやり方だけでなく、こうすると危ないと示していることは親切だなと思います。

委員長 意見交流会での意見も日本文教出版が多いですね。

委員長 それでは、「日本文教出版」を推していくということによろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

【家庭】

事務局 家庭科についての具申書の説明をさせていただきます。よろしくお願いたします。家庭科は東京書籍と開隆堂の2社でございます。それでは、具申書の項目に従って説明いたし

ます。

東京書籍ですが、教科書12ページをごらんください。各単元の最初に、「生活の窓」で家庭生活をよりよくするための視点がまとめられています。また、「学習の流れ」も示されることで見通しを持った学習が可能となるよう工夫されています。次に、巻頭ページの見開きには、小学校から中学校への内容が流れとして記載されています。さらに、6・7ページ成長の記録は、各単元で実施した内容を書き込むことで、学習内容が一覧でわかるようになっていて、5、6年でどのような学習内容に取り組むのかがわかりやすく示されています。135ページには、同様のページが振り返りに活用できるように用意されています。次の項目ですが、8ページをごらんください。「いつも確かめよう」のページでは、実習にかかる安全に取り組むためのページが用意されています。衛生・安全の注意が一覧となっており、実習等に対する安全確認が容易にできるようになっています。また、巻末にある136・137ページの「いつも確かめよう」では、調理実習や製作実習の写真を多く記載しており、「手をのせてまねしてみよう」では、右ききと左ききの原寸大の写真を記載することで、より確かめやすい工夫がなされています。次の項目ですが、27ページにあるように各単元には、「プロに聞く」として専門職の方の経験談が掲載されています。さらに動画コンテンツで視聴することができるものが用意されていることで、各単元での実践できるポイントだけでなく、キャリア教育での視点でも学習できるように工夫されています。35ページの「夏休みわくわくチャレンジ!」では、既習事項について、実践できるように工夫されており、児童が自主的な活動をしながら振り返りをできるよう工夫されています。

続きまして、開隆堂出版の方の説明をさせていただきます。P8をご覧ください。各単元の最初に、「四葉のクローバー」で家庭生活をより良くするための視点がまとめられており、「学習のめあて」も示されることで見通しを持った学習が可能となるよう工夫されています。巻頭ページの見開きには、他教科との関連する項目の記載があり、教科横断的な学習ができるような工夫されています。12ページをご覧ください。「安全と衛生に気をつけて実習しよう」を各実習ページにあわせて記載しています。また、142・143ページの巻末特集ページで実習の安全についてまとめて記載しています。148ページからの巻末ページの「実習に役立つワンポイント」では、調理や製作の写真を取り入れており、右ききと左ききの写真を記載していたり、教科書の裏表紙には、食材の切り方が記載されており実習時に教科書を置いていても、確かめやすい工夫がなされています。18ページの下にある「キャリアインタビュー」は、各単元での専門職の方の経験談が掲載されており、キャリア教育での視点でも学習できるようになっています。60・61ページの「生活を支える者やお金」の単元では、消費者教育についてフローチャートで示しており、具体例を挙げながら、学習ができるとともに、64ページでは今後の生活において必要であるであろう、買い物でのトラブルケースをあげることで、実生活における問題解決ができるような工夫がされています。

以上です。

委員長 何かご意見ありますでしょうか。

委員長 情報量が多いのは開隆堂かなと思います。

F 委員 家庭科は知識よりも技能が必要になりますが、実習につながりやすいというのは東京書籍でしょうか。

- 事務局 開隆堂の14・15ページ、東京書籍の22・23ページをご覧ください。開隆堂は見開きを意識するつくりになっており、左から右への流れとなっています。東京書籍は余白部分が多くなっています。書き込みができたり、気を付けるポイントがあったりすると意見交流会でも意見としてありました。
- 委員長 長期休暇に学んだ内容を活用するページがあるのが、東京書籍ですね。
- 事務局 実際に書き込みしやすくなっています。やってみた結果を反映することができます。また、自分が困った時に立ち返ることもできるようになっています。
- 委員長 調理実習であれば、開隆堂が見やすくなっていますが、全体のページにゆったり感があるのは東京書籍であり、見やすくなっていて、全体的には東京書籍が良いのではないかと思います。詰め込んでいる感が開隆堂にはあるかと思っています。
- 事務局 2社の90・91ページを比較していただくと、先のことを考えさせるということになっています。
- F 委員 学んだことを次につなげ、発展的な学習につながる出版社が東京書籍ということですね。
- 委員長 授業の流れで考えると東京書籍の方が活用しやすいですね。
- 委員長 では、「東京書籍」を推していくということですが、ただ一長一短はあります、ということとしたいと思います。
- D 委員 最近であれば、YouTube で作り方等を調べる子も多いと思いますが、写真や動画はありますか。
- 事務局 動画コンテンツも準備されています。実習前に見て、作るということもできます。写真だけではわかりにくい場合は動画を活用する工夫もされています。
- 委員長 東京書籍のDのようなマークが動画があるところですね。
- 委員長 それでは、反対意見がないようであれば、「東京書籍」を推していくということよろしいでしょうか。
- 全委員 異議なし。

【保健】

- 事務局 それでは、保健の選定具申を発行者順にご説明いたします。
はじめに、東京書籍についてです。全ての単元において、ステップ1・2・3・4という学習過程を経て、児童が自ら課題を解決していく構成であり、資料を活用して課題について考え、友だちと協働的に学びながら解決に向かうことができるようになっています。

各章の冒頭には、関係するSDGsの主な目標や、他教科とのつながりが掲載されており、視野を広く持って学習に取り組めるようになっていきます。表紙をご覧ください。登場人物について、多様性に配慮されています。また、3・4年生用38ページでは性と自分らしさ（4つの性）、5・6年生用18ページではパラリンピック代表選手のエピソードについて、QRコードによる補足資料と併せて、丁寧に取り上げています。5・6年生用18ページには、不安や悩みがある時の相談窓口について、連絡先や受付時間などをまとめた一覧が掲載されています。続いて、43ページをご覧ください。AEDの使用について「ASUKAモデル」に関する内容が、母親のメッセージとともに掲載されており、児童が自分事として学習に取り組めるように工夫されています。全体を通して、豊富な資料の中で発展的な内容も取り扱い、児童が自らの興味・関心に合わせて学習に取り組むことができるようになっていきます。

次に、大日本図書についてです。1時間の授業が見開き1ページにおさまるように構成されています。また、2ページにある折りこみカードを使用し、これから学ぶことを隠すことで、児童の思考力を働かせるような工夫がされています。各単元の「活かそう」、加えて章末の「学年のまとめ」や資料ページ「もっと知りたい」において、学習したことを生活の中でどのように実践していくかを考える学習活動が多く設定されています。動画資料が豊富に用意されており、具体的な体験を伴う学習について、実際に映像を見ながら進めることができるよう工夫されています。

次に、大修館書店についてです。イラストや写真資料を効果的に活用し、文章量を最小限に留めるよう工夫がされており、見開き1ページで授業が完結する構成のため、授業の流れが一目でわかります。また、各学年の巻頭では、「生活の中の保健をさがそう！」など、丁寧に導入がされています。5・6年生用の19ページから21ページをご覧ください。悩んだり、ストレスを感じたりしている時の対処方法や相談窓口、相談する時の話し方や相談された時の受け止め方等、心の健康についてイラストを用いながら丁寧に示されています。

次に、文教社についてです。

5・6年生用18・19ページをご覧ください。各章末の「わたしの〇〇せん言」では、今後どう実践していきたいかについて考え、記述するようになっていきます。自分の生まれた性別と心の性別の不一致など、具体的で共感的なエピソードを扱うことで、子どもたちの不安や悩みに寄り添うよう配慮されています。「Episode」というコラムで学習に関連する内容を補足的に紹介し、「もっと考えよう課」で発展的な学習に取り組むことができるようになっていきます。

次に、光文書院についてです。表紙裏にスポーツ選手や作家のインタビュー記事が掲載されており、児童に興味関心を持たせるとともに、健康が夢をかなえる原動力となることを実感できるようになっています。各単元において、自分の生活等について考える活動、課題解決に向けての活動、学習したことを自分の生活と結びつけたり、自分の生活に活かそうと考えたりする活動が設定されています。また、「広げよう・深めよう」と題した発展的な内容を含む資料ページを配しており、広い視点を持つことができる構成になっています。3・4年生用、28ページをご覧ください。子どもと大人の体の違いについて男女の写真が掲載していますが、正面と横向きがあり、特徴が捉えやすくなっています。また、服装などについて細かな配慮がみられます。続いて、33ページをご覧ください。自分の発育や性自認についての心配や悩みごとがあった時の相談先を掲載するなど、全ての児童が安心して学習に取り組めるよう配慮されています。

最後に、学研についてです。各単元において、1・2・3の学習過程を経て、課題解決

【令和6年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

に向けた話し合い活動や、学習したことを自分の生活にどう生かすかを考えられる構成になっています。6・7ページをご覧ください。様々なマークを用い、他学年や他教科の学習内容とのつながりや発展的な内容、補足情報などをわかりやすく示しています。「つなぐ」では、単元に関連のある学習や仕事の情報にアクセスできるQRコードを示し、学習展開の支援としています。各単元末に記述欄やQRコードによるふり返しシートが設けられ、章末では、チェック形式により学習の理解度を自己評価できるようになっています。全体を通して、写真や資料の大きさや配置に工夫が見られ、児童の興味・関心を引き出すような構成となっています。

私からの説明は以上でございます。

委員長 何かご意見やご質問等ありますでしょうか。

F 委員 先ほどの説明で、人権的な配慮については、東京書籍がより配慮されていると感じましたが、いかがでしょうか。

事務局 東京書籍の表紙をめくったところには、教科書全体を通した登場人物に車椅子を利用している児童や、外国にルーツを持つ児童がおり、多様性に配慮されています。

委員長 意見交流会での意見はどうでしたか。

事務局 意見交流会では東京書籍の意見が多かったです。

委員長 東京書籍が一番バランスが取れているということですね。

E 委員 東京書籍では、ASUKAモデルが記載されており、命を守るという視点では大きな意味があると思います。世の中にはいろいろなところにAEDがあることも知識として伝えることができると思います。

委員長 では、調査員から調査どおり「東京書籍」「光文書院」をあげていくことでいいですか。

全委員 異議なし。

【特別の教科 道徳】

事務局 道徳の調査結果を報告します。6つの会社の教科書を調査いたしました。各社とも、随所に工夫がありそれぞれに力を入れた点が見てとれました。それでは、各社の報告いたします。東京書籍の特徴として、道徳的判断力や道徳的心情を育てることを意図した教材が、バランスよく配置されています。また、漢字は、読解に時間をかけずに「考え、議論する道徳」が実現できるよう、未習の可能性のある当該学年の配当漢字は使用せず、原則として当該学年の一つ下の学年までの配当漢字が使用されています。教材については、全学年と各学年段階の「重点指導内容項目」が設定されており、複数の教材が掲載されています。

教育出版の特徴として、「いじめ」や「情報モラル」については、全学年で重点テーマとして位置づけ、ユニット化して手厚く指導できるようにされています。また、教材の挿

絵などは、服装や持ち物、色などに関して性差の偏りがないように配慮されていたり、現代的な課題でもあるLGBTQについて考えるきっかけとなる教材が設けられています。低学年では、言葉のまとまりがわかりやすく読み誤りが生じにくいよう、分かち書きと文節改行で表されています。

光村図書の特徴として、昔話を教材化した読み物、等身大の児童が登場する読み物、伝記等で知られる先人の生き方や、現在活躍する人物の子どもの頃の葛藤を扱った読み物など、児童の心を捉える多様な教材がバランスよく配されています。また、他の教科書と同様に、カラーユニバーサルデザインへの配慮として、色覚特性を持つ児童が学習に支障を来すことがないように、配慮がなされています。さらに、第1・2学年では、児童の読みのつまづきを軽減できるよう、行頭に助詞が来ないように配慮されていたりします。

日本文教出版の特徴として、各巻とも、魅力ある教材がふんだんに取り上げられ、児童の興味・関心を引きつけるだけでなく、人間であれば誰もがもっている弱さと、それを乗り越えようとする強さや気高さについて考えることができる教材が取り上げられている点が特徴の一つです。また、児童が登場人物の生き方に深く共感し、誇りある生き方や夢や希望のある生き方を考えることができる教材が取り上げられています。さらに、発達の段階に合わせ、各学年、各教材の文章量が適切になるように配慮されており、必要な箇所に必要な挿絵が掲載されています。

光文書院の特徴として、終末では「まとめよう」として、その時間に学習した内容を振り返るポイントを提示し、「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」を確認し、学習内容をまとめる活動を通し、学んだ道徳的価値を自分との関わりの中で捉え、発展させることができるよう配慮されています。また、冒頭の「導入」で子どもの経験を想起させたり、主題に関わる問題意識を持たせたりすることで、教材の内容に興味・関心を抱かせることによって、学習意欲を高め、目的意識をより明確にしたうえで、学習に取り組めるよう取り扱われています。そして、いじめの防止や安全の確保といった課題については、児童にとって喫緊の問題であると捉え、各内容項目の教材において、直接的・間接的にいじめについて、子ども自身の問題として捉えられるような教材が選定されています。さらに、全学年に重点主題として設置し、「いじめを生まない心」を主眼に、児童自らがいじめの防止等に主体的に関わる態度を育めるように配慮されています。

学研は、道徳科の目標を達成するために、多様な教材を掲載しています。教材を通して、児童の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができるよう工夫されています。フォントは、大きく、見やすい書体(ユニバーサルフォント)が使用されています。見出しや本文は、児童の立場に立って、平易で理解しやすく記述されています。また、レイアウトの工夫により、学習展開を考慮して、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっており、見やすく、わかりやすくなっています。さらに、QRコードの横に言葉があり、子どもたちは「見てみたいな」と興味・関心を持ちやすいものになっています。そして、いじめを生まない心について、多面的・多角的な視点から自分との関わりで考えを深めるために、様々な内容項目の教材が用意されています。「深めよう」「心のパスポート」等、多面的・多角的に学んで道徳的価値を追求する問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的な学習に合った教材を随所に取り入れられています。さらに、教材には、様々な分野で活躍する、今を生きる人たちに関係する教材や、人生の足跡からたどる学びの宝庫である先人たちに関係する教材等、児童が興味・関心を持って学べるように、心を引き込む教材が多数掲載されているところも特徴の一つです。

以上でございます。

【令和6年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

委員長 何かご意見やご質問等ありますでしょうか。

副委員長 日本文教出版には朗読してくれるQRコードがありましたが、他の出版社はありますか。子どもに読ませることもあるが、上手な方が読んでくれるということは非常に良いと思います。調査員からの意見はなかったですか。

事務局 他に朗読する出版社はありません。調査員からはQRコードについて意見がありましたが、朗読について意見等はありませんでした。日本文教出版のデジタルコンテンツについてはシンキングツール等もあります。

F 委員 文書量が適切であり、子供たちに伝わりやすいという観点では、どの出版社になりますか。

事務局 調査員からの意見からは学研になります。ページ数を比較しましたが少なくなっており、中身が精選されているのではないかと思います。

F 委員 多面的・多角的に考え、議論することを中心に捉えているということが学研の特徴ということですね。

A 委員 授業以外でも道德の教科書は読みやすいものになると思うが、偏りがなくバランスが取れている出版社はどこでしょうか。

事務局 どの出版社もバランスについて、偏りなく記載されています。

A 委員 日本文教出版はいじめを扱っている量が多いのではないかと思います。

委員長 学研の教科書には以前から取り扱いのある良い教材が多いと思いました。

B 委員 学研の絵はほんわかしていますし、見やすい印象があります。

委員長 特に反対意見がなければ、調査員からの調査により「学研」ということでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

【外国語（英語）】

事務局 「東京書籍」は、文の構造を学びやすく、文字を意識しながら学習することができるよう構成されています。ワークシートには、自分の考えを書くことができます。また、QRコードが見開き1ページごとについており、音声に慣れ親しみやすく、家庭での学習にも活用することができます。デジタル教科書は、右利きでも左利きでも対応可能なように、ボタンの位置を変えることもできます。

「開隆堂出版」は、1単元の中に活動が多く、教科書1冊でたくさんのことを学ぶことができます。児童の発達段階に即して、興味・関心を持って学習を進められるよう工夫さ

れています。例えば、6年生では自己紹介、世界の国々、日本の紹介、小学校の思い出、中学校生活等についての題材が取り扱われています。巻末の CAN·DO チェックや Word Book わかりやすい工夫がされています。

「三省堂」は、学期を通して単元に系統性があり、取り組みやすい構成となっています。イラストや字のバランスが良く、見開き1ページ1時間で構成されています。音声や動画のQRコードは見開き1ページごとについており、My Dictionary は別冊になっているので使いやすく、項目ごとに分かれており、2学年を通して使うことができます。

「教育出版」は、教科書のサイズがコンパクトで持ち運びやすくなっています。全体的に問題数や紙面に記載されている内容が簡潔で情報量も少なく、苦手意識を感じる児童も取りかかりやすい印象です。聞き取りの文量がちょうどよく、絵だけでなく文字も一緒に記載されているので、自然と文字にも触れることができます。英語4線の幅4:5:4になっていて、書きやすい工夫がされています。デジタル教材では、ワークシートも提示されており、どのワークシートを使うかがわかりやすくなっています。紙面にあるQRコードに音符マークや再生マークが描かれているので、動画なのか音声なのか判別しやすい工夫がされています。また、動画には実際にペアで活動している場面が使用されており、児童が真似をしやすくなっています。また、体験的な活動も豊富で、児童に身近な場面設定がされているのも特徴の一つです。発表や発展的なやり取りとともに「読む」「書く」という活動も取り入れられています。

「光村図書出版」は、教科書のサイズがコンパクトで持ち運びやすくなっています。イラストや字のバランスが良く、見開き1ページ1時間で構成されており、使いやすい紙面となっています。絵や写真が多く使われており、カードを置くことで英文を作ることができ、苦手意識のある児童も取り組みやすい工夫がされています。また、児童の身近で実際に起こりうる場面や状況が設定されていて、主体的にコミュニケーションを図ろうとする意識が芽生えやすくなっています。Picture Dictionary が別冊にもなり、教科書に挟んで保管することもできるので、取り扱いやすくなっています。絵カードに書かれている単語は、英語4線の上に書かれているので、各活動のときに文字の高さを確かめながら取り組むことができ、わかりやすくなっています。

「啓林館」は、各単元の Activity でペアやグループでの活動が設定されているため、クラスのたくさんの友達と交流することができるよう工夫されています。目標や内容をふまえて、教科横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織、配列されています。また、短時間学習での扱いも例示されていることも特徴の一つです。また、こまめに振り返りの欄も設けられています。

以上です。

委員長 なにかご意見等ありますでしょうか。

F 委員 コミュニケーション活動について、しっかりと取り組んでいる出版社はどこですか。

事務局 特に、教育出版に関しては、クラス全体で自分たちが作った作品を共有することができますので、コミュニケーション活動がとりやすいのではないかと考えています。

D 委員 英語においてもUDフォントを使っていますか。

事務局 各社UDフォントを使っていますが、日本語において使用していない出版社もあります。

開隆堂出版の英語のフォントについては、書きやすく、まねしやすいフォントになっており、子供たちにとっては、使いやすいフォントになっています。

委員長 教育出版や光村図書出版は英語も日本語もUDフォントですか。

事務局 日本語においてはUDフォントではありません。

副委員長 教育出版には2年生の国語で習った「おてがみ」があり、子供たちも嬉しいのではないかと思います。アニメの鬼滅の刃も入っており、子供たちが興味を持つように工夫されていると思います。

委員長 では、特に反対がなければ、「教育出版」「光村図書出版」の2者をあげていくということによろしいですか。

全委員 異議なし。

事務局 ありがとうございます。それでは答申案の2点目について、ご説明いたします。本日の答申案の1枚目、鑑をご覧ください。今、答申案の1番、令和6年度使用教科用図書小学校用種目についてご協議いただきました。2番についてですが、こちらも合わせて答申するというので、その案を別表2に掲載しております。学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について、以下別表2のとおり採択することが望ましいと考えます。諮問の時にもご説明いたしましたとおり、(学校教育法)附則第9条に規定される教科書というのは、小・中学校で言えば、いわゆる支援学級で特別の教育課程を実施しているという場合で、所定の学年の検定教科書を使用することが適切でない場合、この附則第9条に基づいて採択することができる教科用図書のことで、その採択について、以下のことを答申します、という内容になっております。吹田市におきましては、従来、障がいのある児童・生徒の社会参画や自立を実現させる観点に立ち、可能な限り全ての児童生徒が、「共に学び、共に育つ」教育を推進しており、支援学級に在籍する児童生徒と通常学級に在籍する児童生徒との様々な交流を大切にしてきました。従いまして、支援学級に在籍する児童生徒につきましても、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第3条の対象として、通常学級の児童・生徒と同じ「検定教科書」を採択し、附則第9条に規定される教科用図書については、採択しないことが望ましいと考えます。しかしながら、これまで、弱視児童・生徒のために、検定教科書の文字や図形を拡大等して複製し、一般図書として発行する場合、弱視の児童生徒に無償給付する措置がとられてきました。従いまして、対象の児童生徒の教育条件の改善に資するため、「拡大教科書」を附則第9条に基づき採択することが望ましいと考えます。なお、各種目の「拡大教科書」につきましても、令和6年度使用教科用図書として採択された発行者の教科用図書を拡大したものとします。というような文言を入れた形で答申案を立てたのですが、いかがでしょうか。参考までに、ここに述べている法律については、こういう形で表記されているということも載せさせていただきます。

確認

事務局 ありがとうございます。長時間ありがとうございました。それでは、次回の委員会につ

【令和6年度使用教科用図書採択に係る 第3回選定委員会】

いての説明を申し上げます。次回7月3日（月）10：00～ 第4回選定委員会をさくす三番館5F第一会議室にて行います。本日の協議内容をもとに、加筆修正された答申書（案）を確認いただき、その後、教育委員会に答申する運びになります。委員長より事務局に手交していただきます。第4回選定委員会にて皆様の選定委員としての役割は終了でございます。この後は、選定委員会からの答申を受けて教育委員会にて各種目1者を採択いたします。前回お渡ししました「調査報告書」並びに本日の資料として配付いたしました「具申書（案）」の取扱いにつきましては、どちらも7月3日の第4回の選定委員会で返却いただきますが、それまでの間、教科書内容の研究・検討にご活用いただくとともに厳重に保管いただきますようお願いいたします。当然のことながら、今回の教科書採択終了まで選定委員会の内部資料でございます。外部の方への提供は厳禁ですので、よろしくをお願いいたします。